中国・四国地方

名前

問1　高知県では、冬でも暖かい気候を利用してビニールハウスなどで野菜を育て、全国的に出荷量が少ない冬から春にかけて出荷する農業が盛んです。なすの出荷時期に関する統計において、全国平均では7月や8月にピークを迎えるのに対し、高知県では3月から5月にかけて出荷のピークがあります。このような、自然条件を活かして出荷時期を早める農業形態を何といいますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 促成栽培
2. 抑制栽培
3. 二毛作
4. 近郊農業

問2　本州四国連絡橋の各ルートと、それらが結ぶ都道府県の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県
2. 瀬戸大橋ルート ― 兵庫県と香川県
3. 神戸・鳴門ルート ― 大阪府と徳島県
4. 尾道・今治ルート ― 山口県と愛媛県

問3　赤潮が発生する主なメカニズムとして、1960年代以降の社会状況の変化と関連が深い説明として適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 森林の伐採によって土砂が海へ流れ込み、海水の塩分濃度が急激に低下した。
2. 二酸化炭素の排出量が増加したことで海水の温度が上昇し、サンゴ礁が白化した。
3. 生活排水や工場排水の流入により、水中の栄養分が過剰になりプランクトンが異常増殖した。
4. 工場から排出されたメチル水銀が魚介類の体内に蓄積され、それを食べた人間に被害が出た。

問4　瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道網が以前よりも複雑化した。
2. 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。
3. 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。
4. 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。

問5　香川県の自然環境や地形の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 沿岸部は黒潮の影響を強く受けるため、一年中温暖で降水量が非常に多いのが特徴である
2. 県北部の瀬戸内海は多島海としての景観が優れており、日本初の国立公園に指定されている
3. 県南部に東西に連なる讃岐山脈には活火山が多く、その恩恵により温泉地が平野部に広がっている
4. 讃岐平野を流れる主要な河川は、山脈から南の太平洋側へ向かって流れる急流となっている

問6　統計資料において、第2次産業の割合が約15パーセント、人口密度が1平方キロメートルあたり約630人と示される岡山県には、日本を代表する重化学工業の拠点があります。この拠点の名称と立地する市の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 愛知県公立入試 類似）

1. 四日市コンビナート ― 四日市市
2. 鹿島コンビナート ― 神栖市
3. 水島コンビナート ― 倉敷市
4. 周南コンビナート ― 周南市

問7　中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 出先機関
2. 独立行政法人
3. 地方公共団体
4. 特別区

問8　2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。（2018年 愛媛県公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 沖縄県
3. 北海道
4. 福岡県

問9　中国・四国地方の各都市における降水量を比較した資料において、年降水量が約1900mmであり、かつ年間降水量に占める冬（12月～2月）の降水量の割合が約30%に達するという特徴を持つ都市として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 鳥取市（山陰）
2. 高知市（南四国）
3. 松山市（瀬戸内）
4. 岡山市（瀬戸内）

問10　中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。
2. 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。
3. 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。
4. 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。

問11　山口県の美祢市付近には、日本を代表するカルスト地形である秋吉台が広がっている。このような独特の景観が形成された理由と、その後の利用について述べた文として適切なものはどれか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. サンゴ礁などが堆積してできた石灰岩の台地が雨水で浸食されて形成され、現在はセメントの原料として石灰石の採掘も行われている。
2. 海底が急激に隆起してできた砂岩の地層が波の浸食を受けて形成され、現在は国立公園として観光利用のみに制限されている。
3. 河川が運んできた土砂が長い年月をかけて積もって形成され、現在はその水はけの良さを活かした果樹園が広がっている。
4. 激しい火山活動によって噴出した溶岩が平坦に固まって形成され、現在はその広大な土地を活かして牧畜が行われている。

問12　愛媛県の工場の分布を示した資料において、特に東部の沿岸部に工場を表す「▲」の記号が密集していることが確認できます。この地域のように、大規模な工場が海岸沿いに集中的に立地している主な理由として、石油化学工業の特性から考えて最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 原料である原油を海外から輸入したり、製品を輸出したりするための大型船が接岸しやすいから
2. 内陸部よりも地価が高く、高度な技術を持つ労働者が多く住んでいるから
3. 工業に必要な大量の電力を確保するために、水力発電所が近くに多く建設されているから
4. 周辺の人口が多いため、製品を消費する巨大な市場がすぐ近くにあるから

問13　瀬戸内海の沿岸部に位置する工業地域において、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が建設され、重化学工業が発達した主な理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 大消費地である東京や大阪の中間に位置し、高速道路による陸上輸送が容易なため
2. 内陸部に広大な平坦地があり、安価で豊富な工業用水を確保しやすいため
3. かつて周辺に大規模な炭鉱があり、エネルギー源を現地で調達できたため
4. 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 促成栽培	高知県は沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候を活かし、ビニールハウスなどを用いて作物の成長を早め、他の地域からの出荷が少ない時期に市場へ送り出す「促成栽培」が行われています。これにより、なすの出荷ピークを全国平均とは異なる春先に持ってくることが可能になっています。
問2	答え 1 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県	本州四国連絡橋の「児島・坂出ルート」は、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結んでおり、その中心となるのが瀬戸大橋です。「神戸・鳴門ルート」は兵庫県と徳島県を、「尾道・今治ルート」は広島県と愛媛県を結んでいます。大阪府や山口県から直接四国へ架かっている連絡橋はありません。
問3	答え 3 生活排水や工場排水の流入により、水中の栄養分が過剰になりプランクトンが異常増殖した。	赤潮は、人間活動によってもたらされた「富栄養化」という現象が直接的な原因です。特に都市化による未処理の生活排水や、工場の拡大による産業排水が、水の入れ替わりが少ない内海や湖沼に停滞することで、プランクトンにとって過剰な養分となり、異常発生を招きました。
問4	答え 4 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。	本州四国連絡橋の完成は、人や物の流れを「海運（連絡船）と鉄道の継ぎ」から「陸路（高速道路・鉄道）による直通」へと変化させました。これにより、移動時間が大幅に短縮される一方で、連絡船に接続していた港湾部への鉄道路線などは不要となり、姿を消していきました。地形図などの資料でも、1980年代にあった港への線路が、橋の完成後には消滅している様子が確認できることがあります。
問5	答え 2 県北部の瀬戸内海は多島海としての景観が優れており、日本初の国立公園に指定されている	1934年、瀬戸内海は日本で最初の国立公園（瀬戸内海国立公園）の一つに指定されました。香川県はこの国立公園の重要な一部を構成しており、多島海（たとうかい）と呼ばれる美しい景観が特徴です。他の選択肢については、香川県の河川は山脈から北（瀬戸内海側）へ流れている点や、火山ではなく堆積岩が中心の山脈である点、太平洋側の高知県とは異なり黒潮の影響を直接受けにくい点が誤りです。
問6	答え 3 水島コンビナート ― 倉敷市	岡山県の人口密度や産業構造のデータから読み取れる通り、同県は製造業が盛んな地域です。特に倉敷市の水島地区は、広大な土地と大型船が接岸できる港湾機能を活かし、石油精製や鉄鋼生産を行う「水島コンビナート」として全国的に知られています。
問7	答え 1 出先機関	広島市は広島県の県庁所在地であるだけでなく、中国・四国地方全体をまとめる役割を担っています。このような都市には、国の各省庁が業務を分担するために設置する「出先機関」や、企業の「支店」が集中します。これらは、その地域における行政や経済の管理・調整を行う重要な機能を果たしています。
問8	答え 1 岡山県	東京から各都市への移動手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
問9	答え 1 鳥取市（山陰）	中国・四国地方は、中国山地と四国山地を境に「山陰」「瀬戸内」「南四国」の3つの気候区に分けられます。日本海に面した山陰地方（鳥取市など）は、冬に北西の季節風の影響を強く受けるため、雪や雨による冬の降水量割合が高いのが特徴です。一方、瀬戸内（岡山市など）は山地に挟まれて年間を通じて降水量が少なく、南四国（高知市など）は夏から秋にかけての降水量が非常に多いという異なる特色を持っています。
問10	答え 2 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	中国地方の工業は県ごとに特色があり、広島県はマツダなどに代表される輸送用機械、瀬戸内工業地域に属する山口県は石油化学、島根県は古くからの「たたら製鉄」の流れを汲む特殊鋼などの鉄鋼業が、統計上の特徴として表れます。各県の主要産業を正しく把握することが重要です。
問11	答え 1 サンゴ礁などが堆積してできた石灰岩の台地が雨水で浸食されて形成され、現在はセメントの原料として石灰石の採掘も行われている。	秋吉台のようなカルスト地形は、遠い昔のサンゴ礁などが石灰岩となり、それが地殻変動で陸地になったあと、二酸化炭素を含んだ雨水などによって溶かされることで作られました。この石灰岩は純度が高いため、建築材料や化学製品の原料となるセメントの重要な資源として、周辺では大規模な採掘事業が行われています。
問12	答え 1 原料である原油を海外から輸入したり、製品を輸出したりするための大型船が接岸しやすいから	石油化学工業は、原料となる原油のほぼ全量を海外からの輸入に頼っています。また、生産される製品も大量であるため、大型タンカーや貨物船による輸送が最も効率的です。そのため、愛媛県の今治市や西条市などの沿岸部では、港湾設備の整った場所に大規模な工場を配置し、海上輸送の利便性を最大限に活用する仕組みが整えられています。
問13	答え 4 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海に面しており、大型船が接岸しやすい臨海部に工場が立地しています。海外から輸入する鉄鉱石や原油などの重い原料を大量に運び込み、また製品を積み出すのに適した海上交通の利便性を最大限に活用したことで、石油化学コンビナートなどの重化学工業が発展しました。